

「一緒に政治変えよう」「いまあなたの力がどうしても必要です」

大阪山下デーで17人

「特別
月間」

山下さん、熱く訴え入党 40 人

来年夏の参院選の比例予定候補として奮闘する山下よしき副委員長・参院議員。いま「党勢拡大特別月間」で熱く入党を訴え、6月以降、つどい、演説会で山下さんが直接働きかけたり、訴えにこたえて入党した人は40人（近畿以外14人）になりました。

●リアルで迫力 「国民がして欲しいことはせず、して欲しくないことばかりする」。安倍政権批判をこう切り出す山下さんは、カジノ、モリ・カケなど通常国会の論戦や地震・豪雨災害を語り、「安倍政権を倒すため、いま本気の野党共闘が必要。そのためにも共産党が大きくならなければ」と訴えます。大阪北部地震の被災の現場に駆け付け、国会論戦の先頭に立つ訴えはリアルで迫力があります。

●どうしても入ってほしい 「いま、どうしても譲れないことがある。それはあなたの入党。今日、決意してほしい」。入党の訴えには強い思いがこもります。木津川南地区のつどい（7月22日）では、ズーっと断り続けた高齢の男性が決意。「まさかあの人が入るとは、今日は歴史的な日」と驚きが広がったこともありました。

●何でも聞いてみよう 山下さんの活動地域（大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山）の多くを占める大阪で参院選勝利の流れをと、7、8月に2回（各3日間）の山下デーを実施、つどい「山下さんに何でも聞いてみよう」を11回開きました。どこも予想を上回る参加で17人が入党決意しました。

9日に開かれた大阪2区地区の3つのつどいでは、4人が入党。準備期間は1週間ほどでしたが、地区委員会は行政区ごとにピラをつくり、入党者を誘うよう支部に声を掛けました。

つどいでは、山下さんが翁長沖縄知事への追悼の言葉をのべ、みな同じ気持ちに。「なんでも聞いてみよう」では「日銀の政策が心配だが」「党との出会いは」「なぜ安倍支持率が高い」「なぜ党名を変えないか」「政党助成金はもらうべきでは」「沖縄県知事選はどうなる」などたくさんの質問が出されました。「共産党が苦闘しながら今の流れを作ってきたことに確信が持てた。さすが党の中心にいる人」の感想も出されました。

10日は堺市の2カ所のつどいは、立ち見が出るほど。会場で4人、終了後も含め5人が入党しました。



大阪2区地区が開いた阿倍野区でのつどい=9日

近畿いっせい宣伝 猛暑つき 619カ所、1950人が参加

10日に行われた近畿いっせい宣伝は猛烈な暑さの中、619カ所で13.9%の支部、1950人、302議員が参加。3万枚以上のピラを配りました。大阪市中央区のJR森ノ宮駅前では清水忠史前衆院議員が「人の不幸の上に成り立つカジノ大阪誘致には絶対反対」と力説。「カジノより防災対策を」とのプラスターを掲げて宣伝しました。

兵庫県姫路市・JR姫路駅前では金田峰生・参院兵庫選挙区予定候補、入江次郎県議らが災害復旧、被災者支援などを訴えました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 36(2018.8.13)

次回の近畿いっせい宣伝は9月14日（金）です